

インフルエンサーのおススメツアー 秋のいばらきの魅力を1泊2日でめぐ る！ ととのう！ “食と癒し”のおすすめスポット

都心からのアクセスも良好で、観光やグルメの魅力が盛りだくさんの茨城県。今回は「茨城で食と癒しを堪能する！ ととのう女子旅ツアー」と題して、ブログやインスタグラムを中心に旅行やグルメなどの情報発信をしているインフルエンサーのchaorysさん (@chaorys)・Reina Sato Katoさん (@nareskat) と一緒に、ひたちなか・土浦・笠間エリアを1泊2日でめぐりました。その魅力的なスポットをインフルエンサーさんの投稿を通じてご紹介いたします！

Day-1

観光：『国営ひたち海浜公園』-車で約15分-『ほしいも神社』-車で約20分-

グルメ：『Trattoria J marina (トラットリアジェイマリーナ)』-車で約30分-

宿泊：『グランピングヒルズ アウラテラス茨城』or『BEB5土浦』

1日目は、茨城を代表する観光スポット『国営ひたち海浜公園』からスタートして観光やグルメを堪能！
宿泊はキャンプ場が多い茨城県の最新のグランピング施設と最新のコンセプトホテルの2パターンをご紹介します。

観光 国営ひたち海浜公園

紅葉したコキアが見頃のみはらしの丘を訪れました！

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、約3万3千本のコキアが10月12日から見頃を迎えました。真っ赤なコキアをお楽しみいただけるのは1週間程度ですが、徐々に赤みが抜け、赤に茶色が混ざるグラデーションの絶景を経て、10月の下旬頃にはみはらしの丘が黄金色(こがねいろ)に染まります。公園では様々なコキアの変化をお楽しみ頂けます！

茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
TEL : 029-265-9001
<https://hitachikaihin.jp/>



※10月12日撮影

観光 ほしいも神社

ホシイモノ(欲しいもの)は総て手に入る「ほしいも神社」で参拝！

茨城県が全国シェア9割を誇る「ほしいも」の生産が盛んなひたちなか市に令和元年に新たに建てられた神社。「ほしいもの」がすべて手に入りますよという思いを込めた新しい神社です！

茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦町 172-2
TEL : 029-265-9533
<https://horide-hachiman.com/>



■本件に関するお問い合わせ、ご取材のお申し込みは、下記までご相談ください。

茨城県広報事務局(フロンティアインターショナル内) 担当: 東山(070-3266-6497)、五十嵐(080-5475-7972)

TEL 03-5778-4844 FAX 03-5778-6516 E-mail: ibaraki-pr@frontier-i.co.jp

(リリース等の配信先の変更、配信停止をご希望の方は、上記までご連絡ください)

グルメ

Trattoria J marina

(トラットリアジェイマリーナ)

リゾート気分を味わいながら茨城の食材を使った
イタリアンを堪能できます！

大洗マリーナクラブハウスの2階にオープンした、地元の新鮮な魚介類を使ったイタリアンレストラン。白を基調とした明るい店内や解放感のあるテラス席でリゾート気分と非日常的な贅沢な時間を過ごすことができます。

茨城県東茨城郡大洗町港中央12番地5号 大洗マリーナ2F
TEL : 029-212-3330
<https://jmarina.com/>



グランピング

グランピングヒルズ アウラテラス茨城

2022年リニューアルオープン！
大自然に囲まれたグランピング施設のBBQとサウナでととのいます！

都会の騒音から離れ、心地よいそよ風を感じながら、非日常を満喫できるグランピング施設。サウナ発祥の地・フィンランドから取り寄せた木材を使用したサウナ体験や、常陸牛やローズポークなど、茨城のブランド食材を使ったBBQを楽しめます！

茨城県土浦市東城寺503
TEL : 050-3198-5845
<https://www.glamping-ibaraki.com/>



コンセプトホテル

BEB5土浦

星野リゾート初の自転車を楽しむホテルで宿泊！
干し芋になりきるフォトスポットやスムージー作り体験も楽しめます！



「居酒屋以上旅未満」「みんなでルーズに過ごすホテル」をコンセプトに、新しい旅のスタイルを提案してくれるホテル。自転車と共に泊まれるサイクリングホテルです。合言葉は「ハマる輪泊(りんぱく)」。旅の相棒となる自転車と滞在を共に楽しめる空間となっています！

スムージー作り体験▶



茨城県土浦市有明町1-30 プレイアトレ土浦3階
TEL:029-825-0502
<https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/beb5tsuchiura/>

▲干し芋になりきれのほしいもベッド

Day-2

観光：一車で約20分『グリーンフルーツ』一車で約10分-

グルメ：『古民家カフェ 岡野ファーム』一車で約30分-『道の駅かさま』

2日目は茨城の自然をたっぷり堪能するプラン！最後に栗の産地として有名な笠間市でお土産を購入しました！

観光

グリーンフルーツ

柿狩り、柿の試食ができる観光農園。柿もお土産にお持ち帰りいただけます！

グリーンフルーツは、かすみがうら市北西部に位置し、筑波山嶺より連なる雪入山の麓に立地する観光農園です。温暖な気候と肥沃な土壌に恵まれ、低農薬、有機肥料栽培により、安心安全な果物作りをモットーとしています。

茨城県かすみがうら市上佐谷1529

TEL：0299-59-2738

<https://www.ibaraki-shokusai.net/shop/shops3?id=7360>



グルメ

古民家カフェ 岡野ファーム

素材そのものの味を楽しめるカフェでランチタイム！

食材は茨城で採れたものを使用。里山の味をたっぷり堪能できる手作り料理で、素材そのものの味を楽しめます！栄養士が味付けや栄養バランスを考慮したランチプレートは、地元食材の魅力が詰まったメニューです。



茨城県石岡市吉生303

TEL：0299-57-3233

<https://okano-farm.jp/>

また、本場イタリアのマシンを使用し、地元でとれた季節のフルーツを使ったジェラートもおすすりめです。ポップなデザインの家具と、アンティークな木の空間に囲まれ、落ち着いた時間を過ごすことができます。隣接する農園では、例年6~8月にブルーベリー摘み体験もできます。



グルメ

道の駅かさま

笠間の栗専門のカフェやレストランが併設する笠間の道の駅で、栗のスイーツやお土産を購入します！

茨城県は栗の農業産出額が全国1位を誇り、笠間市は県内でも代表的な栗の産地です。2021年にオープンしたばかりの道の駅かさまは、「笠間のゲートウェイ（玄関口）」をコンセプトに、笠間のさまざまな魅力が凝縮されています。栗専門のカフェ&ショップをはじめ、地元食事が味わえるフードコートや農産物・お土産を取り扱う直営店などもあります。

茨城県笠間市手越22番地1

TEL：0296-71-5355

<https://m-kasama.com/>

